

活動報告



建学の理念

人間尊重を基本理念に、よりよい人間関係とホスピタリティの探求・実現、並びに文化と健康を大切にする社会の建設に貢献する教育・研究

教育の目標

1. 専門的知識と技能に加えて、知性、感性、人間性の備わった人材の育成
2. 地域から愛され、地域社会に貢献できる人材の育成
3. 異文化を理解し国際社会に貢献できる人材の育成

モットー

いつも、人から。そして、心から。

平戸市的山大島「古民家再生計画」

2015年9月13日



AiA (Art in Aduchi) 芸術祭と題して9月13日に平戸市的山大島でスケッチ大会を実施し、参加者の作品を島の美術館として再生させた古民家等で展示しました。また、イベントの一環として野外映画祭の企画・運営も行いました。

引き続き、次年度も神浦地区古民家再生を大学のサテライト拠点として捉え、大学のゼミ活動を定期的に行い、そこに島の人々が加わりながら交流と魅力再発見を行いたいと考えます。その後、住民の皆様が主体となって継続的な運営ができるようにサポートしていきたいと思えます。



佐世保市における中心市街地の活性化への取組

2015年11月19日



11月19日長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科の尾場研究室がアルカス佐世保の「させぼ夢大学・夢のひろば」において、「地域活性化の実践と地域の新たな魅力創出」をテーマに、地域活性化へ向けての研究室の発表として、佐世保たこ焼き、FM生放送、そして「佐世保の民話」電子書籍の制作発表をしました。

2000名の観客席から多くの拍手のなか、学生は緊張もなく活動の経緯・目的や報告、そして作品の朗読なども行いました。今後も、佐世保の地域活性化の実践と新たな魅力創出をテーマに活動を続けていきます。

薬学部対象合同企業面談会を開催しました。

2016年3月29日



地域就職率の低い薬学部学生（1～5年）を対象として、県内事業所との就職面談会を行うことにより、県内外の学生が地域の病院・薬局等を知る機会を設けました。参加事業所の皆様から、5年生には就職を視野に入れた企業説明を、1～4年生には地域の薬剤師として働くことについてお話しいただきました。

参加事業所の方々には学生の求める就業環境などを知るきっかけとなり、今後の学生受入における一助となると考えます。

県内事業所出展32社。

参加学生91名。

早岐まちづくり協議会及び早岐商工振興会との連携活動

2016年7月22日

長崎国際大学学生による早岐茶市実査報告、地域緑化事業による早岐地区の環境整備、地域連携活動による早岐まちづくり計画などについて、検討を進め、報告会を開催しました。

次年度以降も同様に学生が地域と連携した活動を進めていきます。



西海市地域活性化事業（“よかところ西海!! みかん芸術祭”，道の駅エリア感謝祭 “みかんフェスティバル”）佐世保市との若者活躍促進プロジェクト

2015年11月22日

長崎国際大学生が企画・運営するイベント！

よかところ西海!! みかん芸術祭

11月22日(日)10:00 ~ 16:00
道の駅さいかいみかんだーム

西海市の美味しいみかんを使った、どなたでも楽しめるアート体験！
 食べるだけではなく、みかんの新しい楽しみ方を提案します。
 体験の後は美味しく食べてください！

樹齢300年のタブの木に名前を付けよう！
 今回のイベントでタブの木の名前を公募し、12月6日(日)開催の次回イベント時の投票によって名前が決まります☆みんなの参加がとるよっ！

絵馬を書いてみよう！
 みかんの木をくまびし絵馬に飾り、事を書こう!! あなたの願いを叫べてくれるかも!?



タブの木



ビールアートがたっぴり

☆みかん de アート体験
 西海市のみかん農家さんから提供して頂いたみかんを使ってアート体験を実施します！

- ① みかんだーム裏の空き地を活用し、みんなでみかんを並べて文字作り！
 (雨天時は、みかんだーム内でみかんピラミッド作り)
- ② みかんの皮を使ったアート ⇒ ビールアートでみかんむきにも楽しませ！

アートに使用したみかんはみんなで袋に詰めて持って帰れます(〇)♪♪♪

オリジナルカレンダープレゼント☆
 あなたの写真がカレンダーに!!
 イベントの思い出として記念写真をバシャリ!
 その写真を使用したオリジナルカレンダーをプレゼント♪
 みかんレシピも大募集してるぞ〜(〇)☆



ビールアート(0)

西海よかところ発信部!
 学生プロジェクトメンバー of
 長崎国際大学 人間社会学部 開講科目「地域連携活動Ⅰ」

<問い合わせ・連絡先>
 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7
 TEL / FAX: 0956-20-5567(小島城元室宛付)
 E-mail: yokatokosakai@gmail.com

FB公式アカウント



国土交通省「道の駅」と大学の連携<連携企画型>



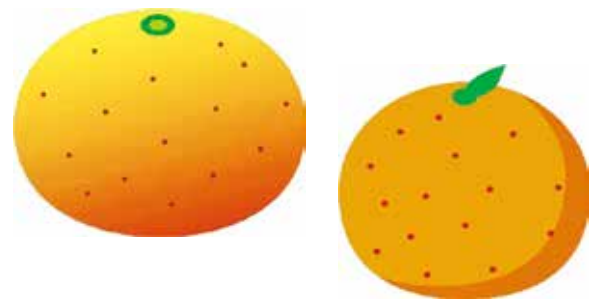
この活動の主体は、長崎国際大学人間社会学部国際観光学科開講科目「地域連携活動Ⅰ」のプログラム「西海市における地域課題の解決」の履修生を中心とした“西海よかところ発信部”です。

フィールドワークやミーティングを通じて、西海市には多くの魅力があるが発信されていないという地域課題が提起されました。そこで、メンバー自らが地域課題解決に向けた活動を行い、それをSNSやリーフレットなどを活用して発信するという大学生による活動する地域メディアの構築を目指しています。

11月22日(日)には西海市の美味しいみかんを使ったイベント“よかところ西海!! みかん芸術祭”を開催しました。

また12月6日(日)には、道の駅さいかいエリア感謝祭“みかんフェスティバル”でもイベントを実施しました。

また、Facebookを開設し、日々の活動や西海市の魅力を発信しています。



平成28年度

学内教職員向けFDを開催しました。

2016年4月27日



4月27日、本学教職員を対象として、FDを開催し、地方創生推進本部石松・安徳両COC+推進コーディネーターより事業概要等についての説明を行いました。教職員がCOC+についての理解を深め、地域連携活動への意識を向上する一助となったと考えます。長崎県が抱える人口減少という問題についても提起し、教職員の理解を得る機会となりました。

参加教職員からは、「単に地元への就職率アップということだけではなく、地域で主体的に活躍できる人材の養成と定着が求められていることがよく理解できました。」や「学生の自己実現がどの場所でできるか、我々教員一人ひとりが企業研究をする必要がある。」といった声が聞かれました。今後も積極的な教職員への働きかけを行っていききたいと思います。

ハローワーク佐世保と共催で合同企業説明会を開催しました。

2016年6月26日



ハローワーク佐世保との共催で、本学食堂棟を会場とし県内（主に県北）企業との合同説明会を実施しました。開始に先立ち、安徳コーディネーターから就職活動における心構えや、地域の企業を知ることの重要性などが述べられました。

34社のブース出展及び学内外より44名の参加者があり、制限された時間の中ではありましたが、学生が熱心に質問をする姿も見受けられ地元企業への理解を深める機会となったようです。



佐世保市との若者活躍促進プロジェクト

2016年10月16日



佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略・若者活躍促進プロジェクトの一環として、国際観光学科学生が菅 賢治佐世保市コーディネーターとともに活動をしています。10月16日に開催された「ねんりんピック」では、「おもてなしステージイベント」の企画及び運営を行い、参加者の方々からも非常に高い評価を得ました。

また、佐世保市PR映像の企画及び制作も行っており、各グループがそれぞれのテーマで佐世保の魅力を発信するCMを企画しています。



菅コーディネーターのアドバイスを受けながら各グループが企画から撮影・編集に及ぶ一連の作業を担い、完成CMのTV放映に向けて活動しています。

地域での就職を考える実践活動（薬学部）

2016年12月11日



薬学部就職委員会、キャリアセンター、長崎国際大学COC+の共催で、本学薬学部OBを含む地域の薬剤師の皆様と薬学部5年生による実践活動を行いました。第一部の講演会では、安徳COC+推進コーディネーターを含む複数の外部講師より、地域薬局薬剤師の在り方や佐世保市の魅力等についてのお話がありました。

第二部のグループワークでは、地方で働くメリットやデメリットなどについて、参加薬剤師の皆様と学生の間で積極的な意見交換がなされました。学生からは「薬剤師さんとの交流を通して、薬剤師として地域医療にどのように貢献できるかを考える機会ができてよかった。」との声もあり、学生が地域で働くことを選択肢の一つとして考えるきっかけになったようです。

また、薬学部教員や参加した薬剤師の皆さんが学生の就職に対する考えを知る機会にもなり、「交通の便の悪さを改善する」や「佐世保市内での実務実習の機会を増やすべき」など、若者の地元定着における課題が明確になりました。本学OB薬剤師の参加もあり、在学生により身近な立場からのアドバイス等も非常に有益だった様に思います。



「西海よかところ発信部！」(西海市地域活性化事業)の活動

2016年度



「西海よかところ発信部！」は今年度より大学公認サークルとしての活動を開始しました。昨年度に引き続き西海市PRリーフレットの作成(～第3号)、本学公開講座での情報発信(6月4日)、学園祭での出店(地域食材PR)(10月29日～3日)Facebookでの情報発信など、日々西海市の魅力を伝える活動を行っています。

10月15日～16日に開催された「全国まちづくりカレッジin名古屋」では、まちづくりびとプレゼン大会にてオーディエンス賞を受賞しました。



また、12月4日に開催されたみかんドームフェスティバルでは、昨年に引き続き、巨大みかんアートやオリジナルカレンダーの作成など、様々なイベントの企画及び運営を行いました。

西海市の広報誌でも紹介されるなど、地域の皆様に「西海よかところ発信部！」の活動を知っていただく機会も増えてきています。

第1回COC+県北地域協働機関連絡会議の開催

2017年2月13日



第1回COC+県北地域協働機関連絡会議が開催されました。本会議は、佐世保市、ハウステンボス株式会社、佐世保観光コンベンション協会、十八銀行、親和銀行、長崎県商工会議所連合会(県北エリア)と県北三大学(長崎県立大学、長崎国際大学、長崎短期大学)により構成され、双方向の連携によるCOC+事業の推進及び若者の県内定着を目指すものです。

第1回目となる今回の会議では、安徳COC+推進コーディネーターより平成27～28年度COC+事業活動概要の報告を行った後、各大学より各自の取組についての報告を行いました。

また、参加者間での闊達な意見交換もなされ、今後の連携に向けた情報共有が行われました。

今後は、大学と地域の企業が双方向に働きかけを行いながら、地域や企業の課題解決を通じた学生の地域定着を目指します。

先進事例調査：山形県COC+事業

2017年8月3日

8月3日、山形県COC+事業に関する情報交換のため、山形大学COC+推進本部を訪ねました。長年、初年次教育として地域志向科目を選択必修化していることや、小中高校と連携してのフィールドワークが盛んであることなど、先進的な取り組みについて多くの情報を得る事ができました。

地域志向教育やフィールドワークの活発化、県内大学間における単位互換制度の活用については本学における課題事項であり、今後の教育プログラム改善のために、非常に有益な機会だったと思います。

県北地区若者定着促進連携会議への出席

2017年度

昨年度より、長崎県県北振興局主催の県北地区若者定着促進連携会議へ出席し、県北地区の自治体や商工会、民間団体との意見交換を行っています。県内及び県北地区での就職状況について理解を深めるだけでなく、高校生を含む若者の県内定着における課題の共有、各団体が取り組んでいる若者定着のための施策について情報を得る機会となっています。

また、COC+事業の進捗状況を広く報告し、協力を求める場でもあります。

佐世保市との連携連絡会議

2017年9月22日

9月22日、佐世保市との連携連絡会議を開催しました。佐世保市だけでなく、本学と包括連携協定を締結している金融機関や企業からも参加していただき、産学官連携に向けた意見交換を行いました。

今年度の公開講座では佐世保市や大塚製薬との連携講座を開催しているほか、各団体よりキッズキャンパスにおける企画提供の協力も得ています。今後も積極的な連携により教育活動の幅を広げ、学生が地元企業を知るきっかけとするだけでなく、産学官が一体となり地域に貢献していくことが出来ればと思います。



COC+寄付講座「地域産業論」の開講

2017年度

本学では今年度後期よりCOC+寄付講座である「地域産業論」を開講し、国際観光学科の1年生から4年生まで、合計49名（うち5名が留学生）が履修しています。全15回の講座のうち、11講座においてCOC+事業協働機関から講師の派遣をいただき、学生が地元企業や自治体、長崎県の産業構造などについて理解を深める機会となっています。

また、この講座の第11回～13回の3講座については遠隔講義システムを利用し、長崎大学などのCOC+参加大学へ配信予定です。